

2024 年度事業報告書

2024 年 1 月 1 日から、2024 年 12 月 31 日まで

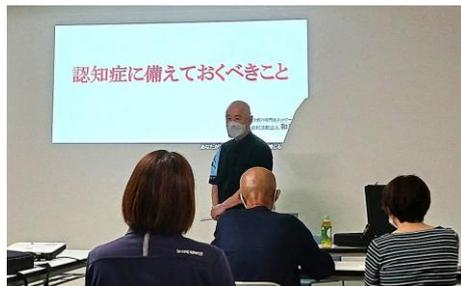
特定非営利活動法人和道

1 事業の成果

本年度は、法務・税務・財務等の各専門家による情報提供・相談受付に関する事業である「思いやりねっと事業」の継続を行ないました。

コロナ禍の影響も和らいだこともあり、連携する福祉施設で行なわれた勉強会に出席し「認知症に備えておくべきこと」について講演を行ないました。

本事業（高齢者を対象にした身元保証サービスなど）は、単身高齢者の増加に伴ない、需要も増加し、事業者間のトラブルも増加してきました。当法人は利用者であるお年寄りや障害のある方々が理解しやすくする為、「事例紹介チラシ」を定期的に松山市内の各支所や図書館などに配布を行ない、併せて、四国 4 県の各地域包括支援センターにはメール配信を行ないました。



「あいこねくと基金」を活用したファミリーホーム等にいる子どもたちへ「バースディケーキの贈呈」、併せて、こども食堂には「クリスマスプレゼントの贈呈」を行ないました。



2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
法務・税務・ 財務等の各専 門家による情 報提供・相談 受付に関する 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・身元保証の受任 ・日常的な金銭管理（財産管 理）の代理 ・緊急時の対応、訃報時の対 応及び死後事務の執行受 任 ・医療判断代理人の受任 ・日常生活等の支援 ・賛助会員向けの支援制度 	通年	四国4 県	10名	高齢者及び障害 者 約34名	1,976
その他この法 人の目的を達 成するために必要 な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困・虐待・育児放棄に苦 しみ子供たちへの支援活 動及び基金の運営管理 	通年	愛媛県	2名	ファミリーホー ムに入所する子 供、子ども食堂 に通う子供 約 100人	